



THE SOCIETY FOR HAPPY LIFE OF
CATS AND PEOPLE

会報

第8号

発行者 青葉区ねここの暮らしを考える協議会

平成18年8月28日発行

協議会事務局 新 PHS 080-3497-2049 会長 井本史夫

活動レポート (H18春夏)

第5回「定期総会開催」(6月22日)

会員、来賓の方々に列席していただき、総会を開催いたしました。17年度の行事、決算報告と18年度の予算案承認など、例年通りの議事に加えて、一部役員交代も承認されました。

新規役員は下記一覧の通りです。

今期 新役員(平成18年度~)

- 会長 : 井本 史夫
- 副会長 : 今井千代子
- 事務局長 : 川崎 康宏
- 会計理事 : 堀川 智生
- 理事 : 太田 成江
- 理事 : 三橋 米子
- 理事 : 加藤 賢郎
- 理事 : 堤 たか子
- 理事 : 日向 千絵
- 理事 : 西 康男
- 理事 : 武井 俊夫
- 理事 : 石川 俊
- 理事 : 小林 尚子
- 理事 : 山下理恵子
- 理事 : 長澤 恵子
- 監査 : 桜田 順子
- 顧問 : 馬場 和清
- 顧問 : 古賀 伸子
- 参与 : 横溝 力男

ごあいさつ

ピュア動物病院院長 川崎康宏



今年度より、事務局長という大役をおおせつかりました川崎康宏と申します。2年前に本会に参加し、昨年より理事を務めさせていただいておりました。今回、西事務局長の後任という、いわば本会の

実際的な活動における中心的な役割を引き継ぐにあたり、若輩のわたくしは役不足を痛感するばかりですが、会の活動内容を早急に把握して皆様のご迷惑とならぬように、さらには本会の発展のため現内容の充実のみならず新しい構想など含めて積極的に活動を行ないたいと思いますので、今後とも変わらぬご尽力をいただきますようお願い申し上げます。また今後、地域別のキャットメイトさんたちが相互協力を行なうことで活動がより広範囲に充実していきますように、キャットメイト交流会へのご参加、活発な意見交換をお願いしたいと思います。加えまして、本会に不参加あるいは会の存在を知らないエサやりさんへは今後も入会のお勧めなどを行なうこといただき、地域としての輪を大きく広げていきたいと考えます。これからの会の発展に伴い、この青葉区が人にとっても猫たちにとっても住みよい地となることを願ってやみません。以上、就任のごあいさつとさせていただきます。

区民祭り、健康フェスティバル

11月3日(文化の日)

今年も参加します。

詳しくは広報青葉10月号にてお知らせします。

協議会オリジナルグッズ販売

バルーンアート

猫ちゃんと写真を撮ろうコーナー

相談コーナー

ナドナド楽しさいっぱい!

商品の売り上げは全て不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊、去勢手術など)にあてられます。



黒澤 泰 先生 講演会

(横浜市職員 地域猫発案者)

平成18年2月10日

「地域猫」のすすめ、ノラ猫と上手につき合う方法

(青葉区役所会議室にて)

会場は大盛況！福岡市より保健福祉局職員の方も視察にいらっ
しゃいました。 お話の一部をご紹介します。



猫のトラブルと言いますが原因の殆どがご近所づき合いのトラブル！

問題にすべきポイントは

猫自身が悪いのか？ 猫に関わる人間が悪いのか？

昔から猫はいたのになぜ最近になり猫の問題がクローズアップされるようになったのでしょうか？ アンケート結果によりますと80%以上がフン尿の問題。



昔、猫は人間の残り物を食べていました。今は総合栄養のキャットフードを食べ、健康で長生き、繁殖力もアップ。人間がノラ猫を増やしたのです。人間がその責任をとるのは当然のことですよね。

フン尿の問題を例に取り説明いたしましょう。

昔は空き地が多かったので猫がフン尿をする場所はいくらでもありました。現代、人間はそこにマンションを建て、猫のトイレを奪ってしまいました。よく考えれば、昔から猫は変わっていないのです。人間が人間の都合の良いように環境を変えていった為、猫の害が問題視されるようになってしまったのです。鳴き声の問題、ゴミあさりの問題も同じです。

解決方法 猫の処分は解決につながりません。困っている事の原因を具体的に突き止め、解決させることが大切です。

アンケート結果によりますと
猫好き.....2割
猫嫌い.....2割
その他(興味、関心が無い).....6割

ただし自分に害が及ぶと猫嫌いに変わる。



車に足跡をつけられたり家庭菜園にウンチをされたり。

猫好きでない方々に猫の存在と、猫の世話をしていることを認知してもらうのは難しいですね。

早急な解決は無理。人の考えを変えることは大変なことです。

町内会の後押しをお願いし、話し合い、その地域にあったルールを作り、気長に取り組みましょう。

- エサの管理
- 不妊手術
- フンの始末
- 周辺美化を徹底させましょう

地域猫から得られるもの
フンの掃除のついでに街の掃除
↓
町の美化
こども達に社会のルールを教えるための最高の教材になるはず。

青葉区は猫問題に対し意識レベルが高いですね。磯子区をモデルに結成された(青葉区ねことの暮らしを考える協議会)もすばらしい。人と猫との共存を目指し情報をもっともっと広めていくことが大切です。情報の発信、受け取りを今よりさらに進歩させていきましょう。

著書：「地域猫」のすすめ(ノラ猫と上手につきあう方法)文芸社

キヤットメイト交流会

10月から曜日が変更になります。

9月までは第2金曜日 開催となりますが、
10月からは
第2水曜日になります。

時間：午後1時～5時
場所：青葉区役所会議室
(部屋番号は当日1階エレベーター
前の掲示板でご確認ください)

スタッフ、獣医師を交え、日頃の悩みや健康相談などざっくばらんにおしゃべりしながら楽しい手作りタイムを過ごしましょう！ 誰でも簡単にできます。

手作りの作品は区民祭り等で販売し、売上げは全て不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊、去勢手術など)にあてられます。

キヤットメイト以外の方もご参加いただけます。皆様お誘いあわせの上お気軽にご参加ください。

ご都合のつく短時間のご参加でもオーケーです。

当日出席予定の先生方

9月8日 (金)	ペットクリニックいしかわ院長 石川俊 先生
10月11日 (水)	ベルジェ藤が丘動物病院院長 堀川智生 先生
11月8日 (水)	にし動物病院院長 西康男 先生
12月13日 (水)	武井ペットクリニック院長 武井俊夫 先生
1月10日 (水)	井本動物病院院長 井本史夫 先生
2月14日 (水)	ピュア動物病院院長 川崎康宏 先生
3月14日 (水)	ベルジェ藤が丘動物病院院長 堀川智生 先生

先生のご都合により急遽変更になる事があります。

お茶を用意して待っています。

来年度以降の日程につきましては、また追ってお知らせ致します。

お問い合わせ：青葉福祉保健センター生活衛生課
電話：978-2463～4

キヤットメイト交流会に参加して

荒木 由三子 (一般会員)

昨年5月に13年飼っていた愛猫を亡くし、意気消沈していたところ、やはりまた、新しい猫を飼おうと決め、この”猫との暮らしを考える協議会”そして”キヤットメイト交流会”という存在を知りました。ご縁があり、2匹の子猫をわが家に迎え入れ、再び毎日猫との暮らしを楽しんでいます。

そして、毎月1度開かれるキヤットメイト交流会に参加するようになり、人間の勝手な考えで不幸な猫たちを増やしている現状などを改めて知りました。アットホームな雰囲気の中で、小さな猫の置物を手作りしながら、皆さんの献身的に子猫を保護し、新しい貰い手を探す姿勢を拝見しました。

私に出来る事として、この現況を私の周りの方々にお伝えすること、そして少しずつではありますが、命の大切さを呼びかけていきたいと思っております。



